

# 専門学校東京 CPA 会計学院熊本校 学校関係者評価報告書

## 令和 5 年度

実施日 令和 6 年 5 月 23 日

※令和 5 年度学校自己評価（基準日：令和 5 年 5 月 1 日）をもとに評価実施

## 令和5年度 学校関係者評価報告書について

学校法人高橋学園専門学校東京 CPA 会計学院熊本校は、すべての教育活動・学校運営業務において、現状を客観的に確認しながら評価し、改善向上を図るため学校自己評価を実施しています。この度、令和元年度より、教育・学校運営に反映すべく、学校自己評価とともに、学校関係者評価を実施しております。

本校に関係の深い方々のご意見を広くお聞きし、その際にいただいた多くの貴重なご意見は、その後の施策に反映させていただき、あらためて学校評価の重要性を認識しているところです。

この度は、卒業生・会計関連業界団体の皆様や会計・教育等に見識をお持ちの方々に令和5年度学校自己評価の結果をお示しし、ご意見をいただきましたので、ここにご報告させていただきます。

今後もより信頼され開かれる学校を目指すべく、教職員一同、一層努力して参る所存です。引き続きご支援、ご指導の程何卒よろしくお願い申し上げます。

令和6年5月

学校法人高橋学園

専門学校東京 CPA 会計学院熊本校

校長・学校評価委員会委員長

真開 純洋

## 学校関係者評価の実施方法と今後の取り組み

### 【評価委員】

学校教育法並びに学校教育法施行規則の規定とともに、文部科学省、熊本県ほか関係行政機関の指導・ガイドラインをふまえ、卒業生3名の方々に評価委員をお願いいたしました。

### 【評価方法】

学校関係者評価委員の方々に、令和6年5月23日にご参集いただき、令和5年度学校自己評価報告書の点検項目に沿ってご質問、ご意見をいただきました。

### 【報告書】

いただいたご意見等を学校長以下教職員で組織する学校評価委員会で承り、要旨を本報告書にとりまとめました。令和5年度学校自己評価報告書と併せてお読みください。

### 【報告書の構成】

本報告書は以下のとおり記述しています。

- 学校自己評価報告書の評価基準・点検項目
- 評価者の意見・質問
- 質問・指摘の場合は本校の回答

### 【今後の取り組み】

ご意見は、次年度以降の、教育課程編成、各種計画などを立案する際、十分に考慮し、可能な項目より実現に向けて取り組んで参ります。

## 専門学校東京 CPA 会計学院 学校評価委員会

学校関係者評価者ご紹介（敬称略）

【卒業生】【関連業界団体・企業】

税理士法人近代経営 山元 佑太

杉山亜夢里税理士事務所 杉山 亜夢里

株式会社カネリョウ海藻 宮崎 康太

◆学校関係者評価者が所属する企業・団体の詳細は公式サイトをご参照ください

税理士法人近代経営 <https://kinkei-net.com/>

杉山亜夢里税理士事務所 <https://amuri-taxaccountant.jp/>

株式会社カネリョウ海藻 <https://www.kaneryo.co.jp/>

## 基準1 教育理念・目的・育成人材像

点検項目【1-01～05】理念・目的・育成人材像

### 評価者意見・質疑

先生方から、講義をはじめ、機会あるごとに、会計教育の必要性や本校の特徴等についてお話をいただいていた。そして、その思いが浸透し、これまで本校の実績につながっているものと思っている。特に、職能・職業に直結する「真の会計教育」を通じて「考える会計教育」を貫いてきていただいている。これからも、その理念を継承していただきたいと願っている。一方、育成人材像として専門性に特化しすぎるため、コミュニケーション等不足の懸念もある。在学中にアルバイトやインターンシップなどで学校外とも関わる機会を増やしたほうが良いのではないか。

### 学校からの回答

当然のこととして、学校の向かうべき方向性については、職員で共有すべき時間を設けるべきである。一方、会計教育の必要性や本校の特徴については、教員がそれぞれの立場から、日頃の講義やあらゆる教育活動を通じて、学生に浸透させる努力を行ってきたのも事実である。

また、「考える会計教育」に力を注ぐため、次の当学園独自の3つの柱を掲げ、これからも引き続き、日々の地道な教育活動を通じて実践していかねばならないと強く思っている。

1 原則として教科書を使わない 2 科目集中講義方式 3 フォローアップ

意見を頂いたコミュニケーションの懸念について、原則禁止としているアルバイトは2年次においては必要に応じて容認するなど柔軟に対応している。

## **基準2 学校運営**

### **点検項目【2-06】運営方針**

#### **評価者意見・質疑**

本校在学中にあっては、先生方の教育者としての使命感・責任感を強く感じていた。しかしながら、先生方の負担があまりにも大きいのではと感じることもあった。今後は、先生方の過度な負担とともに、働き方改革の視点も十分考慮していただくことも必要ではないか。

#### **学校からの回答**

労基法や就業規則に沿った体制を整えているのは当然のことではあるが、昨今、働き方改革が、報道等で取り上げられることが多くなってきた。今後は、働き方改革の視点にも気を配り勤務のあり方について検討していかねばならない。

### **点検項目【2-07】事業計画**

### **点検項目【2-08】運営組織**

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

### **点検項目【2-09】人事・給与制度**

#### **評価者意見・質疑**

充分体制は整備されていると思うが、更に明確な人事評価制度があれば教職員のモチベーション向上につながるのではないか。

#### **学校からの回答**

今後とも更なる人事評価制度の充実を図っていきたい。

### **点検項目【2-10】意思決定システム**

### **点検項目【2-11】コンプライアンス体制**

### **点検項目【2-12】情報公開**

### **点検項目【2-13】情報システム**

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

## **基準3 教育活動**

### **点検項目【3-14～19】目標の設定**

#### **評価者意見・質疑**

入学当初から、簿記をはじめ学習の進捗に個人差がある。やむを得ないことではあるが、なかなか難しい課題ではある。その手立てをどう工夫されているのか。

また、パソコンのスキル向上やより実務を意識した教育方法の実施については、大変、重要な視点であると思う。是非、力を注いでいただきたい。

#### **学校からの回答**

東京校による支援体制や一斉指導に加え、個別指導やグループ別指導等の指導方法を工夫しているところである。また、学生の動機づけについて機会あるごとに学生面談による意識向上を図っている。

一方、学校として集団づくりを心掛け、学生同士の関係を強化しているところである。パソコンスキルなど実践的なスキルについては、検定資格の取得をはじめ、学生のスキル向上に向けて引き続き重要な柱として力を入れていきたい。

### **点検項目【3-20～21】教育方法・評価等**

#### **評価者意見・質疑**

授業改善は永遠の課題であり、正に命である。今後も、授業改善には積極的に取り組んでほしいと願っている。

#### **学校からの回答**

教員には、専門性の向上とともに、学生の理解が深まる授業の実践に取り組んでほしいと考えている。授業評価はマンネリ化しがちであるが、改善に是非活かしていかなければならないと考えている。授業評価に加えて、研究授業の実施、職員同士の意見交換なども積極的に取り入れて参りたい。

#### 点検項目【3-22】成績評価・単位認定等

##### 評価者意見・質疑

進級認定や卒業認定において、学生本人のみならず保護者からのクレーム等はないか。

##### 学校からの回答

入学当初、オリエンテーションにおいて詳しく説明を行なっている。更には、危ぶまれる学生に対しては、丁寧に個別面談とともに説明を行なっている。

また、高等教育の支援制度において、給付制度を受けている学生もいるが、成績不良や出席不良等により給付の停止や返還が生じることがある。その場合も、危ぶまれる学生に対しては、面談等を通じて警告等を行ない、給付停止等が生じないよう心掛けている。

お陰で、これまで、クレーム等の問題は生じていない。一方、学生の複雑化、多様化が進む中、進級認定・卒業認定等に関する規定については、見直しを行う必要があると認識している。

#### 点検項目【3-23～26】資格取得等の指導体制

##### 評価者意見・質疑

本校では、学生各々の学習進度に対応した個別指導には大変力を入れており、充実していると実感している。その反面、限られた職員数の中、教員の負担がかなり大きいのではと心配している。教員数確保に向け、様々な方法を考える必要があるのではないか。

##### 学校からの回答

これからも引き続き、教員の人財確保に向けて常にアンテナをはり、優秀人材の確保に心掛けたい。

#### 点検項目【3-27】教員研修等

##### 評価者意見・質疑

先生には、専門職としての積極的研鑽が求められる。一人前の先生になるためには、まずは、専門家としての十分な力を蓄えていかなければならない。専門領域で実力がない教員ほど哀れなものはない。そのためには、専門教科指導にとどまらず、社会性、礼節、コミュニケーションなどの領域まで研修を広げる必要があるのではないか。

##### 学校からの回答

教員という職業は、人を育て、人の魂を育む極めて重要な意味を持っている。学生も保護者も教員を選ぶことは出来ない。一人前の教員になるためには、常に研修を欠かしてはならない。教育に当たる「教職員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。」と法律にも規定されており、今後も人材育成に力を注いで参りたい。

## 基準4 学修成果

### 点検項目【4-28～29】就職率・資格取得率等

#### 評価者意見・質疑

資格取得に向けての学習支援の充実とともに学生の進路開拓を通じて、人間的成長につなげていただきたい。

#### 学校からの回答

資格取得はもちろん学生の進路開拓のためにも、簿記会計を土台として、それを活用できるような体制を構築していきたい。それらが学生の人間的成長につながると認識している。

### 点検項目【4-30】退学率の低減

#### 評価者意見・質疑

本校では、中途退学者や不登校の学生は極めて少ないと聞いている。先生方のきめ細かいケアの賜物ではないかと心強く感じている。しかしながら、近年、学生の複雑化・多様化が進んでいる実態が少なからず見受けられるが如何か。

#### 学校からの回答

学生の日頃の観察が大変重要である。また、職員間の学生に対する情報共有とともに、必要に応じて学生面談を行うことも大切である。一方、学校では、保護者などと連携・協力体制を構築し、協力を得ることも必要不可欠だと考えている。

### 点検項目【4-31～32】卒業生の社会的評価

#### 評価者意見・質疑

第一線で活躍している卒業生は、在校生にとって大変身近な存在である。卒業生との接点の機会をつくり、在校生のモチベーションをあげる工夫を考えてほしい。例えば、CPA 熊本校卒業生の会を開催するなど考えてほしい。

#### 学校からの回答

なぜ、なかなか卒業生との接点がつくりにくいのか、何がネックになっているのか、分析すべきである。まずは、出来るところから取り組んで参りたいと思っている。

## **基準5 学生支援**

### **点検項目【5-33】就職等進路**

#### **評価者意見・質疑**

学生の就職活動に対しては、引き続き支援体制を強化していただきたい。また、インターンシップなどで就職後の働き方を意識できる活動を増やしてはどうか。

#### **学校からの回答**

進路開拓は、人間的成長につながるものであると認識している。進路活動に必要な整備に力を入れてはいるが、今後、個別のインターンシップの機会提供、面接対策、就職相談の充実など取り入れることにより、就職活動を通じて成長してほしいと願っている。

### **点検項目【5-34】学生相談**

#### **評価者意見・質疑**

気軽に相談できる環境の構築が大切であるように思う。専門のカウンセラーからのアドバイスも必要に応じて求められる。

#### **学校からの回答**

本校では、試験終了後など定期的な面談を教員で行っている。このほかにも適宜対応し面談が必要な学生にはきめ細やかな対応と面談を行っている。また、唯一の女性職員が、積極的に学生の相談に当たっている。一方、場合によっては、専門的立場からのアドバイスが必要になることも想定される。

### **点検項目【5-35～38】学生生活**

#### **評価者意見・質疑**

本校は、県外出身者をはじめ、親元を離れている学生が多いと聞いている。その学生たちの心境としては、心細いところも少なからずあるだろうと思われる。手立てはどうされているのか。

#### **学校からの回答**

提携寮の存在は、学生たちにとって大変心強い存在である。親元を離れている学生に対しては、保護者との連携の下、きめ細かい面談を行うなどして、状況把握に努めている。

### **点検項目【5-39】保護者との連携**

### **点検項目【5-40～43】卒業生の支援、社会との連携等**

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

## **基準6 教育環境**

### **点検項目【6-44】施設・設備**

#### **評価者意見・質疑**

開校12年が経ち、老朽化等によって改修等が必要になってくると考えられる。学生の快適な学校生活を保障するためにも、適切な点検とともに必要な修繕を行ってほしい。

#### **学校からの回答**

今年度は職員室や教室のドアの修繕やエアコン修理を行った。年々、確実に老朽化対策が必要になっており、学生にとって居心地の良い学校生活を提供できるように、今後も改修等を行っていききたい。

### **点検項目【6-45】学外実習・インターンシップ等**

この項目は、ご意見がありませんでした。

### **点検項目【6-46】防災体制等**

#### **評価者意見・質疑**

校内の防災意識を高めるためには、定期的な訓練の実施が必要不可欠であり、いざ災害が発生した時、スムーズに行動しやすくなる。また、本校の地理的状況を勘案すると、水害を想定した避難についても、特段の気配りが必要ではないか。

#### **学校からの回答**

令和5年度は、防災訓練を実施することが出来た。防災意識を高めることは、命を大切にすることにつながる。特に日本は、災害の多い国である。いかに、学生の意識啓発を図っていくかが問われることになる。

## 基準7 学生の募集と受け入れ

### 点検項目【7-47~49】学生募集活動

#### 評価者意見・質疑

残念ながら、募集定員に入学者数が達している状況ではない。資格取得率の高さは本校の強みであり、募集活動に活用していただきたい。その他にも、あらゆる角度から分析を行い、効果のある取り組みが求められるのでは。

#### 学校からの回答

本校は、日頃指導を行なっていただいている高校の先生からのアドバイス等により、志願につながっている例が多い。今後は、卒業生等の活躍を高校生に伝えるとともに、引き続き募集活動の一つ一つを検証し、改善に向け取り組んで参りたい。

### 点検項目【7-50】学生学納金

#### 評価者意見・質疑

ご承知のとおり、昨今、物価の高騰が私たちの生活を暮らし直撃している。今後学納金にも影響が生じてくるのではと心配している。

#### 学校からの回答

現時点では、学生の学納金について妥当であると思っている。しかしながら、ご承知のように物価の高騰等が心配される。

今後、引き続き、学納金について検討を続けなければならない。

## 基準8 財務

点検項目【8-51】財務基盤

### 評価者意見・質疑

少子化の影響は避けては通れない。財務の安定には、学生数の確保が求められる。学校としての実績はあるが、募集定員には達していないのが現状である。今後ともしっかり取り組んでいただきたい。

### 学校からの回答

財務基礎の安定には、学生確保は必要不可欠である。今後も学生確保に向けて工夫改善に努めていきたい。

点検項目【8-52】予算・収支計画

点検項目【8-53】監査

点検項目【8-54】財務情報の公開

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

## 基準9 法令等の遵守

点検項目【9-55】関係法令、設置基準等の遵守

この項目は、ご意見がありませんでした。

点検項目【9-56】個人情報保護

### 評価者意見・質疑

昨今、データ関連などの流出が多くなっているため、危機管理対策はしっかりとさせていただきたい。

### 学校からの回答

ご指摘の通り、学校としても最善を尽くして参りたい。

点検項目【9-57】学校評価

点検項目【9-58】教育情報の公開

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

## 基準 1 0 社会貢献・地域貢献

点検項目【1 0 -59】社会貢献・地域貢献

点検項目【1 0 -60】ボランティア活動

点検項目【1 0 -59】公開講座・教育訓練

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

## 基準 1 1 国際交流

点検項目【1 1 -62~65】国際交流

この項目は、ご意見がありませんでした。